

## 8. Citronnier-シトロニエ (女声17名)

指揮：柴山 陽子 ピアノ：増沢 真実

1. RISE UP, MY LOVE 旧約聖書 (ソロモンの雅歌) 作曲 エレノア・デイリー
2. 『ファンタジア』より

雪ひらひら 作詞 ウォルター・デ・ラ・メア 訳詞 木島 始 作曲 木下 牧子  
風をみたひと 作詞 クリスティーナ・ロセッティ 訳詞 木島 始 作曲 木下 牧子

初めまして。「Citronnier-シトロニエ」です。私達は、小金井と目黒で柴山陽子先生にヴォイストレーニングを受けている2つの団体の仲間達です。そして、合唱祭などがあると「シトロニエ」として共にステージに立たせていただきます。いつもはそれぞれの地元で、別々に練習している私達ですが、日頃の陽子先生の揺るぎない一貫した愛情いっぱいのご指導で、ステージではとても心地良く一つになれるのです。本番に向けての数少ない貴重な合同練習は、いつも待ち遠しい時間です。今日も私達の息の合ったハーモニーをご披露できれば幸いです。(連絡先：citronnier.mail@gmail.com)

## 9. 新声会合唱団 (混声15名)

指揮：柳川 直則 ピアノ：木村 公子

1. 五月の歌 訳詞 三浦 和夫 作曲 F. Mendelssohn
2. おやすみ 作詞 リッケルト 作曲 Robert Schumann
3. 流浪の民 訳詞 石倉 小三郎 作曲 Robert Schumann

私たちもご多分に漏れず、コロナにより昨年5月に予定していた演奏会を断念し、再設定した本年7月の演奏会も中止に追い込まれました。その間、練習会場の確保もままならないだけでなく、家族や職場のリスク回避のため練習参加者も限られましたが、オンラインによる繋がりも努めて来しました。いまだ終わらないこの災禍は、自分たちの活動にどんな意味があるのか、どのように音楽に向き合うのか考えさせられる機会のような気がします。本日は、ロマン派の人口に膾炙した合唱曲を訳詞で歌います。難しい曲ではありませんが、一般市民のクラシック音楽熱が高まり始めた19世紀前半、ロマン派の音楽が花開いた雰囲気を感じられる演奏を目指したいと思います。(連絡先：新福 03-5477-3427)

## 10. 早春の会合唱団 (混声14名)

指揮：玉置 清明 ピアノ：岡部 美佐子

1. 犬が自分のしっぽを見て歌う歌 作詞 やなせたかし 作曲 木下 牧子 混声編曲 玉置 清明
2. 悲しみの意味 作詞 星野 富弘 作曲 千原 英喜
3. 竹田の守子唄 京都市竹田伝承 編曲 玉置 清明

こんにちは。早春の会合唱団です。歌えることが当たり前だった日々から2年近くが経ちましたが参加出来る団員で少しずつ練習を進めてきました。こうして「目黒区合唱祭」のステージでまた歌えるようになったこと、そして他の合唱団の歌が聴けるようになったことがとても嬉しいです。今日はいつもの半分の人数ですが精一杯歌います。この場を作って下さった目黒区合唱連盟の会長以下スタッフの方に心から感謝いたします。(連絡先：平部正和 mhirabel1952@gmail.com)

## 11. はなみずき (女声15名)

指揮：柴山 秀明 ピアノ：谷塚 裕美

1. 足おと 作詞 岸田 衿子 作曲 木下 牧子
2. ある日のたび 作詞 岸田 衿子 作曲 木下 牧子
3. 曇り日なら 作詞 岸田 衿子 作曲 木下 牧子

はなみずきです。まずは、今年が目黒合唱祭の開催に心から感謝いたします。出口の見えない真っ黒なトンネルを歩いているかのようなこの現実に、再びパーシモンのステージに立てる目標ができた事が、メンバー一同にとってどれだけ明るい光になった事でしょう。まだまだ心配は尽きず、以前の様に全員揃って手放しで喜ぶ状況では決してありませんが、このような機会を与えて下さったからには前向きに、元気に、そして心を込めて歌いたいと思います。こんな時だからこそ「口びるには歌を」です。マスクの下は思いっきりの笑顔で歌います。

(連絡先：増田香織 03-3723-5215 midori97@yahoo.ne.jp)

### 第67回目黒区合唱祭

2022年11月12日(土) めぐるパーシモン 大ホール  
皆様のご参加をお待ちいたします